

宮城県考古学会連絡紙

第79号

2020(令和2)年8月1日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

2020年度宮城県考古学会総会報告

2020年度総会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会場での開催を断念し、郵送にて実施しました。審議事項及び審議結果については下記の通りです。

【審議事項】

- (1)議案第1号 2019年度の事業報告について
- (2)議案第2号 2019年度収支決算報告(案)
- (3)議案第3号 2020年度の事業計画(案)について
- (4)議案第4号 2020年度収支予算(案)
- (5)議案第5号 役員改選(案)について

【審議結果】

全ての議案について承認

なお、総会とあわせて中止となりました研究発表会の内容(特集『加美町葉菜山麓の旧石器文化』)については、2021年5月刊行予定の会誌『宮城県考古学会』第23号への掲載を予定しています。

会誌22号刊行遅延のお詫び

日頃より当会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

6月にお知らせしました会誌『宮城考古学』第22号の刊行が、新型コロナウイルス感染症の影響、及び編集作業などの不手際により大幅に遅れております。現在、9月の刊行を目指して作業を続けているところです。

このような事態に至り、執筆者および会員の皆様には多大なご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

今後は、会誌幹事会を含めた事業実施の体制の見直しを図り、このようなことが無いよう役員一同協力して取り組んで参りたいと存じます。

今後とも学会活動へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

2020年7月23日
宮城県考古学会
会長 佐々木和博

2020年度 宮城県遺跡調査成果発表会

日時:2020年12月12日(土) ※予定

会場:未定

新型コロナウイルス感染の状況を踏まえつつ、開催の有無について検討しています。詳細は次号でお知らせいたします。

博物館等イベント情報

会期等については8月1日現在の情報となっております。今後の状況によって変更される可能性がありますので、ご注意ください。

【東北歴史博物館】

●特別展「GIGA・MANGA 江戸戯画から近代漫画へ」

江戸戯画(GIGA)から近代漫画(MANGA)までをたどる漫画の歴史!江戸戯画から明治・大正期の諷刺漫画雑誌、昭和戦中期の子ども漫画等、前・後期合わせて約250点の作品・資料を通じて日本の漫画の変遷を展覧します。

[会期]7月4日(土)~9月6日(日)

※8月4日から一部展示入れ替え

[開館時間]9:30~17:00(発見は16:30まで)

[休館日]毎週月曜日

※8月10日(月・祝)は開館、8月11日(火)は休館
[観覧料金]一般1,200円、シルバー(65歳以上)1,100円、小・中・高校生600円

・関連イベント

◆ワークショップ 多色刷りを体験しよう!

8月8日(土)、8月22日(土)

◆ワークショップ GIGA・MANGAの缶バッチを作ろう!

8月15日(土)、8月29日(土)

◆ギャラリートーク 講師:伊藤 遊氏(京都精華大学 准教授)

8月2日(日)

◆講演会 時代で見る近代漫画のカタチ

8月16日(日)

講師:新美 琢真氏(川崎市市民ミュージアム 学芸員)

◆展示解説 解説:当館学芸員

毎週日曜日

※そのほか、館長講座や夏の体験講座、考古学・古文書講座を実施しております。

活動報告

●縄文部会開催報告

2020(令和2)年7月19日(日)に、東北大学埋蔵文化財調査室を会場とし、第27回縄文部会(参加者7名)を開催しました。まず、今後の活動内容について話し合いを行いました。

宮城県考古学会で予定されている「復興関係調査で拓かれた地域の歴史」の開催に備え、本部会では、これまでの調査成果を検討することを目的とし、三陸沿岸地域の調査成果について資料調査等を行うことを決めました。また、東北大学大学院文学研究科・埋蔵文化財調査室が昨年度に試掘調査を行った村田町姥沢遺跡の成果について報告(報告者:菅野智則)を行いました。

次回、開催日時は未定ですが、決まり次第また案内致します。

宮城県考古学会刊行物の店頭での取扱いについて

宮城県考古学会刊行物については、郵送頒布及び学会などでの出張頒布をご利用いただいているところですが、下記の店頭でも一部書籍を取り扱っています。是非、お手に取っていただき、ご利用くださいますようお願いいたします。

- ・東北歴史博物館ミュージアムショップ
- ・仙台市博物館ミュージアムショップ

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先> 鈴木 啓司(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

住所・所属等変更の際は必ずご連絡ください

連絡紙などの郵送の際、居住者不明で戻ってくる方が数名おります。転居や異動で住所等が変更になった会員は、事務局まで必ず連絡をお願いします。

[会費納入・転居等連絡担当] 宮城県考古学会事務局

連絡先:022-795-6073(FAX 兼)

E-mail: info@m-kouko.net

宮城県考古学会 事務局

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付

FAX 022-795-6073

E-mail info@m-kouko.net

●(予告)特別展

「伝わるかたち／伝えるわざー伝達と変容の日本建築ー」

建築を構成する組物・障壁画・座敷飾や、建築をあらわした図面・絵画・模型などを紹介しながら、建築のさまざまな情報がどのように伝達し変容したのか、その技法や知恵、意味や背景に迫る日本建築史の新しい展覧会です。飛鳥時代から近現代まで幅広い時代の建築部材・模型・絵巻物・図面・大工道具などを展示します。

[開催期間]9月26日(土)～11月23日(月・祝)

【栗原市一迫埋蔵文化財調査センター】

●令和2年度くりはら遺跡発掘ー令和元年度発掘調査展ー

[会期]8月4日(火)～9月13日(日)

[開館時間]9:30～16:30

[休館日]月曜日、祝祭日、年末年始

※こどもの日と文化の日は開館

[観覧料金]大人200円、小中高生100円

【地底の森ミュージアム】

●第93回企画展「縄文あにまる～つくる・つかう～」

縄文時代の人々にとって、動物はどんな存在だったのでしょうか？仙台南内や宮城県内の遺跡から見つかっている資料を中心に、「つくる」と「つかう」の2つの側面から探ります。

「発掘された日本列島展」に出品された、大崎市北小松遺跡出土遺物などが展示されます！

[会期]8月4日(火)～10月18日(日)

[開館時間]9:00～16:45(入館は16:15まで)

[休館日]月曜日(祝日に当たる日は開館)、休日の翌日(土・日曜日・休日にあたる日は開館)

[観覧料金]一般460円、高校生230円、小中学生110円

・関連イベント「親子で知ろう！縄文あにまる」

企画展の解説と子ども向けの弓矢体験で「縄文あにまる」に詳しくなろう！

日時:①8月9日(日)10:00～11:00 ②8月9日(日)13:30～14:30 ③8月16日(日)10:00～11:00 ④8月16日(日)13:30～14:30 ⑤8月23日(日)10:00～11:00 ⑥8月23日(日)13:30～14:30 ⑦9月22日(火・祝)10:00～11:00 ⑧9月22日(火・祝)13:30～14:30

対象:小学3年生以上とその保護者

定員:各回3組 ※申込が多い場合は抽選になります

申込締切:各イベント実施日の2週間前まで

・関連講座「アートで”縄文あにまる”」 ※募集締切:8月22日

日時:9月5日(土)13:30～15:00

講師:根本裕子氏(陶芸家)、井上幸治氏(美術批評家)

対象:一般15名 ※申し込みが多い場合は抽選になります